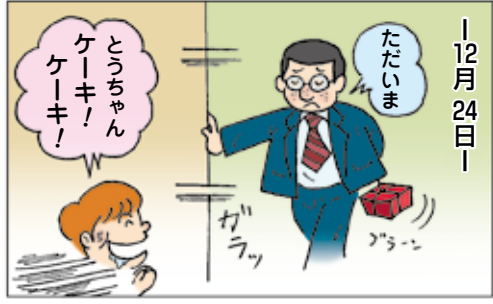


# 新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.45



## 国東が生んだ世界の哲人

### 三浦梅園

その足跡と思想(その5)

#### 『玄語』の世界…

世界は、横糸と縦糸によって織り成される錦織りのようなものだ。  
元になるものは横と縦の糸、織り成されるものはありとあらゆる文様である。

三浦梅園が、生涯をかけた学問でめざしたことは、この世界の成り立ちを根本から説明することでした。

主著『玄語』は梅園三十一歳の宝暦三(一七五三)年にそのような思いで書き始められました。

《言葉で言い表し難いもの、名付け難いものがある。それを仮に『一元氣』と呼ぼう。この『一元氣』は宇宙の隅々にまで充満してわずかの隙間もない》…と書き出された『玄語』は、この『一元氣』がどのようにこの世界を成り

立たせているか、その仕組みを解き明かしていきます。

「一元氣」は「形あるもの」、「形なきもの」が一つになったもの。梅園はそれを「一即一」「一則一」と表現しました。「光と影」「東と西」「上と下」「男と女」これらはいずれも片方だけでは存在することが出来ない対等な「対」。世界のあらゆる存在はこの「対」が一体となって成り立つ。梅園はこの仕組みを『條理』と名付けたのです。

梅園は『條理』を発見するだけでは満足できずに、実に二十三回も『玄語』を書き換えています。その上、常に改訂、訂正を続けているのです。そこには、『條理』をより一層完成させ、現実世界をより一層

正しく説明し解明しようとした梅園の誠実な学問的姿勢が現れているといえるでしょう。



▲梅園の書いた「玄語」

問い合わせ 三浦梅園資料館 ☎0978-64-6311

#### 写真展

### 「国東六郷満山の原風景」 — 峯入りの道を往く —

来年3月に10年ぶりに峯入りが行われます。写真家の小田原賢司さん(安岐町)は、昭和から平成にかけて行われた峯入りを20年以上にわたり撮影しています。その貴重な写真から厳選した約50点を公開します。

期間 平成21年12月13日(日) ~ 平成22年3月31日(水)

場所 弥生のムラ 国東市歴史体験学習館

見学料 無料

◎その他の展示を合わせてご覧になる場合は、入館料として高校生以上200円、小・中学生100円が必要です。

